

第1回和光市次世代育成支援対策後期行動計画策定委員会会議録

日 時	平成20年11月17日(月) 15:05~16:35
場 所	和光市庁舎6階602会議室
出席者	西郷委員長 林副委員長 小野委員 上牧委員 小泉委員 寺嶋委員 萩原委員 森田圭子委員 (欠席者)一柳委員 榎本委員 小田委員 神杉委員 中尾委員 長谷委員 待鳥委員 三浦委員 森田一幸委員 野木市長
事務局	石川保健福祉部長 久保こども福祉課長 亀井課長補佐 横山統括主査 中野主査
傍聴者	1名

亀井課長補佐

本日は、大変お忙しいところご出席をいただきまして、ありがとうございます。ただいまから、第1回和光市次世代育成支援対策後期行動計画策定委員会を開会いたします。最初に、委嘱式を行います。野木市長より委嘱書の交付を行います。

野木市長

委嘱書交付

亀井課長補佐

続きまして、開会にあたりましてのご挨拶を野木市長より申し上げます。

野木市長

後期行動計画策定委員のお願いをしたところ、快くお引き受けいただきありがとうございます。和光市では、平成17年3月から5か年計画の和光市次世代育成支援行動計画により、次世代育成に取り組んでいます。この計画も3年を経過し、22年度から5か年間の後期計画を策定することとなり、委員のお願いをしました。和光市では、若い方々の転入が多く、学校と保育園が足りない状況となっております。その意味で、この計画の策定の意味は大きいものとなっております。それぞれのお立場、ご経験を生かしながら、総合的な視点に立って、和光らしい計画を立案いただけるとありがたいと思います。立案までの期間、大変お忙しいと思いますが、よろしく願いいたします。

亀井課長補佐

市長におかれましては、これより他の公務がありますので、これで退席をさせていただきます。(野木市長退席)

(資料確認)

亀井課長補佐

本日は、お手元の次第に沿って進めさせていただきますが、議題1「委員長、副委員長の選出」まで、事務局にて議事を進行させていただきます。

横山統括主査

(会議公開・会議録要点記録の説明)

亀井課長補佐

本日は、初めての顔合わせでもございますので、議事に入る前に、事務局職員の紹介をさせていただきます、その後、本日御出席の皆様、自己紹介をお願いします。

(事務局自己紹介)

亀井課長補佐

本会議の運営に当たりましては、要綱第3条第2項において、策定委員会に委員長及び副委員長を置くことになっております。そして、同条第3項に基づき、委員長及び副委員長は、委員のうちから市長が指名する者を充てることとなっており、市長は、委員長に西郷泰之委員を、副委員長に林浩康委員を指名しております。

ここからは、要綱に従いまして、委員長に議長をお願いしたいと存じます。それでは、西郷委員長よろしくお願いいたします。

西郷委員長

前期計画では、東洋大学の高橋重宏先生が委員長で策定され、その時も参加させていただきましたが、後期計画でも引き続きお手伝いをさせていただくことになりました。

先ほど市長からも、なるべく「和光らしい計画」とのお話がありましたが、地域の状況を踏まえたという意味と、和光市初の事業等を作っていくことも、「和光市らしさ」ではないかと思えます。外の方から見てもわかり易い、和光らしい計画を策定できれば、と思っていますので、よろしくお願いいたします。

西郷委員長

続いて、林副委員長からご挨拶をいただきます。

林副委員長

私は、和光市に住んで3年目です。まだ、和光市のことを良くは、わかっておりませんが、よろしくお願いいたします。

西郷委員長

ありがとうございました。本日は「和光市次世代育成支援対策後期行動計画策定委員会」として、初めての顔合わせでもございますので、委員の皆さんにも「自己紹介」をお願いしたいと思います。

(各委員自己紹介)

西郷委員長

それでは、2年間よろしくお願いいたします。次に、議題2「和光市次世代育成支援対策後期行動計画策定の趣旨説明」について、事務局から説明をお願いいたします。

横山統括主査

(資料1の説明)

西郷委員長

ありがとうございました。何かご質問や確認したいことは、ありますか。

(意見等なし)

続きまして、議題3「前期計画の検証結果及び後期計画策定の方向性について」、事務局から説明をお願いいたします。

中野主査

議題3については、説明が長くなりますので、説明の都度、ご意見を伺います。

前期計画の検証としては、2回開催した地域協議会において、評価主体者として、利用者などの第三者や地域協議会などの第三者による評価の視点を増やすことが必要であり、評価は、できる範囲で精度を高めていくとともに、アウトカムの評価を取り入れていくことが必要であるとの意見が出されております。

後期計画策定の方向性としては、市民アンケートは、当市に即した計画とするため、市独自の設問を加えることとし、早期に実施し、地域協議会での議論を踏まえ、後期計画に記載する事業内容は、年度毎に事業の進捗状況等の評価を行いやすい表現を用いることとします。

西郷委員長

ご質問等がございましたら伺いたいと思います。第2回、第3回策定委員会では、現行施策の課題の洗い出しや意見を出し、市がその課題にどのような解決策を考えていくかということになると思います。続いて、事務局からお願いします。

横山統括主査

お手元の資料2をご覧ください。市民アンケートの対象者や対象数についてご説明いたします。「和光市次世代育成支援対策後期行動計画」を策定するにあたっては、始めに子育ての実態や今後必要とされる子育て支援についての意向を知ることが必要です。そのため、国から示されている策定指針案に基づいて、就学前児童と小学生の保護者の方を対象に、市民アンケートを行いたいと思います。事務局案の対象数は、就学前児童保護者1,500、小学生保護者1,000を無作為抽出し、郵送で配付したいと考えています。

アンケートの対象者を、12歳までとすることについては、後期計画の計画最終年に

児童福祉法に定める「児童」の定義である18歳未満となる児童であり、県内他市の実施予定状況によると、多くの自治体も12歳までとしていることと、前期計画の市民アンケート結果では、就学前児童、小学生の保護者と、市民の回答に差がほとんど見られなかったため、質を確保しつつ経費を削減できる見込みであることから市民アンケートは、対象年齢を12歳までとします。調査対象外となる中高生や市民の意見については、近年実施した他の調査を参考とするほか、子育て支援関連施設でのインタビュー調査やパブリックコメント等により反映したいと考えております。

西郷委員長

ありがとうございました。ご意見等がございましたら伺いたいと思います。

森田圭子委員

対象者や対象数を減らすことについては、良いと思います。国の「策定指針の手引き」に記載されている「特別なニーズを要する層への簡便なアンケート調査の実施」は、どのように実施しますか。

横山統括主査

中高生については、児童センター等の夜間開放時に意見を聞くことや、必要によっては、高校へ伺うことを検討するほか、ひとり親家庭については、必要があれば別途調査を行うことも検討したいと思います。

森田圭子委員

子育て関連施設には、かなり問題をかかえている世帯も来るので、そのような世帯のニーズも網羅して、計画を策定してほしいと思います。

林副委員長

森田委員からの指摘にもあったように、アンケート項目が多いため、大変な家庭ほど、回答しない傾向も見られると思います。回収率を上げるために、留置による回収などを検討していますか。また、アンケート対象数について、就学前児童保護者1,500、小学生保護者1,000は、対象者全体における割合は、どの程度になりますか。

横山統括主査

留置による回収は、予定しておりません。全対象者に占める割合は、就学前児童で3.3人に1人、小学生で4.5人に1人となります。

林副委員長

前回調査において、郵送による回収率は、どの程度でしたか。

横山統括主査

全体の回収率は、57.3%でした。（「結構高い」との声あり）ただし、小中学生は、

クラスを指定して、学校で回収し、例えば、小学5、6年生では、95%でした。一般市民を対象としたアンケートでは、34%でした。

林副委員長

回収率を上げようと思えば、留め置きによる回収も必要かと思います。

西郷委員長

ご検討いただくということで。他に、ご意見はありますか。

森田圭子委員

今日、アンケート案を議論して、第2回の会議は、アンケート終了後となりますか。

横山統括主査

お手元のスケジュール表では、アンケートを実施している最中となると思います。

森田圭子委員

アンケート項目について検討できるのは、今日だけということですか。

横山統括主査

そうです。

中野主査

市独自のアンケート項目については、各委員に事前に意見募集を行っておりますので、その内容を報告いたします。

林副委員長から「サービス情報の入手方法をいれてはどうか。」という意見と「和光市の子育て環境が整っているか」については、もう少し細分化して質問してはどうか。」という意見がありました。また、三浦委員から「父親の“子育てに関する研究会実施希望”の有無を入れてほしい。」という意見を、中尾委員から「認知度を把握する設問に、「地域青少年を育てる会」の項目を入れてほしいという意見がありました。

林副委員長には、ご意見の趣旨を伺えたらと思います。

林副委員長

「サービス情報の入手方法」は、このような調査において、必要な項目であるが、記載がないためです。「和光市の子育て環境が整っているか」は、“環境”という捉え方が多様であると思いますので、もう少し表現を明確化して、聞いたほうが良いのではないのでしょうか。

(林副委員長退席)

西郷委員長

アンケートの対象者について、私の意見を述べさせていただきます。この計画は、重点は乳幼児に置いてあるものの、乳幼児だけの計画ではありません。基本的には子ども達の意見を聞かないと、子どもの権利条約に反するということになります。子ども達は、アンケートによる聞き取り調査では、あまり意見を出さないのが、子どもの会議を置いたほうが良いと思っています。子ども達が議論をして、意見をまとめて、策定委員会に提案してもらう形にすれば、子どもの多様な意見を入れられるのではないかと思います。第2回会議までに、事務局で検討のうえ、子どもの会議を作っていただきたいと思いません。聞き取り調査の実施のほか、子どもの会議があれば、子ども達への直接的なアンケートは行わなくて良いと思います。

続いて、アンケートの仕組みについて、事務局から説明をお願いします。

中野主査

(資料3、資料の説明)

西郷委員長

内容について、ご意見、ご質問がございましたら伺いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

森田圭子委員

資料5 - 1と資料5 - 2について、質問数が膨大であり、回答にも相当苦勞すると思われませんが、質問を削ることはできませんか。

中野主査

埼玉県からは、原則として、国策定指針に基づく質問や県独自の質問を削ることはできないと言われております。ただし、埼玉県に再度、質問や当市にはない施設等の回答例を削ることについて確認を行っております。

森田圭子委員

アンケートに記載されている言葉のうち、意味がわかりにくいものがありますが、そのままの表現でアンケートを行うのですか。

横山統括主査

表現は、加筆することができるので、できるだけ分かりやすい表現を用いたいと思っています。

西郷委員長

このアンケートは、全国統一の質問となっております。アンケート中の文言を変えることは、受ける印象が変わることになるため、認めないのではないのでしょうか。

上牧委員

市独自質問案の「安心して子どもを学校に通わせることができると思いますか。」については、学校の質のことなのか、通学路等のことなのか分からないと思いますので、質問の趣旨をお聞きしたい。

また、「和光市の子育て環境が整っているか」については、具体的に何を聞こうとしているのか、わかりにくいと思います。

小泉委員

具体的に記載した方が、良いと思います。

西郷委員長

事務局から、この2問について、質問の趣旨を伺えませんか。

久保課長

この質問は、上位計画である市後期基本計画の成果指標と同様の文言での質問となっております。経年比較し易いと考えて、加えたいということです。それでは、「なぜ、そう思うのか」という質問をそれぞれに加えるのは、いかがでしょうか。

西郷委員長

その市後期基本計画は、いつまでの計画ですか。

久保課長

平成22年度までです。

西郷委員長

「なぜか」という自由記述は、膨大となり、調査そのものが大変になると思うので、やらない方が良いと思います。後期基本計画の中で、「安心して子どもを学校に通わせる」とは、街の安全のことですか。

久保課長

「子育てを安全に」ということだと思います。

西郷委員長

質問はこのままにして、後期基本計画に、質問の趣旨が書かれていれば、それを付け加えてはいかがでしょうか。

森田圭子委員

「和光市の子育て環境が整っているか」については、細分化して質問すれば、現在の子育ての状況がよくわかると思いますので、別に細分化して質問を加えてはいかがですか。

西郷委員長

市に全くない施設については、埼玉県も削って良いという判断をするかもしれません。東京都では、区市町村にない施設は、削除しているところもあったと思います。

久保課長

後期基本計画では、「子育て環境」や「学校」については、質を聞いております。

西郷委員長

質問の趣旨は、加えることはできますか。

久保課長

後期基本計画を参考に、加えることはできると思います。

西郷委員長

いずれにしても、目的に合う答えができれば良いと思います。

小泉委員

アンケート全体を見ると、具体的に子育てについて、どのようなことに悩んでいるか等を聞く質問が少ないと感じます。

寺嶋委員

アンケートの質問が膨大なため、回収率が心配ですので、聞き取り調査を丁寧に行っていただきたいと思います。回収率を下げる恐れがあるため、質問をさらに増やすことは得策ではないと思います。

萩原委員

回収率を上げるため、アンケートをカラーで行うことはできませんか。

小野委員

質問が国県で決められているこのアンケートは、このまま実施し、別にアンケートを行うことも良いかと思います。

西郷委員長

別のアンケートは、事務量も膨大になります。補足のアンケートも必要かとは思いますが、その点は聞き取り調査を成果が出るような形で実施し、ニーズを把握したいので、事務局と相談していきたいと思います

また、三浦委員の「父親の“子育てに関する研究会実施希望”の有無を入れてほしい。」という意見について、今回は、このような具体的なことにまで踏み込んだ調査はしないので、ここまでは聞けません。ただし、父親の子育て参加については、聞き取り調査で対応できると思います。中尾委員の「認知度を把握する設問に、「地域青少年を育てる会」

の項目を入れてほしいという意見について、今回の調査は、行政施策を聞く調査なので、こちらアンケートでは聞きません。三浦委員と中尾委員の意見の趣旨を生かして、聞き取り調査を実施できればと思います。

また、市独自アンケート案の、問の「前期計画に掲げた5つの重点課題に対する解決の優先度を聞く」質問については、このまま聞いても良いのですが、「このような社会が実現できたと思うか」との問をすれば、市民の意識によるアウトカム評価となり、そこから見えてくることもあると思います。アウトカム指標による客観的なものではありませんが、課題解決が不十分だと思われる課題について、次の重点課題として掲げていくということもできるかとも思います。

西郷委員長

アンケートについては、副委員長と事務局と相談しながら、特に聞き取り調査の設計については、丁寧にしていきたいと思います。

次に、議題4「その他について」、事務局から説明をお願いいたします。

中野主査

今後のスケジュールについてご説明いたします。

1 1月中旬から12月までの間に、第1回会議議事録の作成・公表を行い、21年2月中旬から3月までの間に、第2回策定委員会を開催したいと考えております。内容は、市民アンケートの実施状況について・計画策定に向けた、子育て支援施設での聞き取り調査の実施状況について、今後のスケジュールほかを予定しています。

西郷委員長

2回目、3回目の委員会は、皆さんから具体的な後期計画についてのご提案をいただきたいので、事務局には、2か月から3ヶ月前にまでに日程調整をお願いします。

他にないようですので、これで閉会させていただきます。本日はお忙しい中、長時間に渡りまして色々のご意見等を頂きまして誠にありがとうございました。